



「こんにちは 市長です」

4月15日号

桜は入学式を待ってはくれない。気候変動、温暖化は確実に進んでいる。もう60年も前のことだが、大学で学んだことが思い出される。科目は人文地理、地球温暖化の講義である。寒い日は寒いし、暑い日は暑い、温暖化なんて肌で感じられない、気温上昇が2、3℃で社会生活が変わるなんて信じられなかったが便利すぎる社会をつくってきた代償だ。自然災害は常に私たちの側にある。

2050年には脱炭素社会にすると国は決めた。太田市はその第一歩として本年度から「市内公立学校42校の電力を全てCO₂フリー電力に代える」ことを始める。ベースはクリーンプラザ（ごみ焼却場）のバイオマス発電だ。㈱おおた電力が購入して学校で使う。大泉・千代田・邑楽の各町にも声かけして全域でのCO₂フリー電力使用を決めた。クリーンプラザの余剰電力のうち非FIT分2億円、これを充てる。その他、FIT分5億5千万円は東京電力に売電している。17円/kWhである。通常は8円/kWh程度だから有利な契約だった。次のステップは市役所など公共施設の全てをCO₂フリーエネルギーで。それには皆さんの協力が必須になる。卒FIT電力を㈱おおた電力に売ってもらう。同電力では10円/kWhで買い取る。曇天や雨の日は太陽光では無理、電力調整して公共施設に供給する。同電力を使って自給自足をやりたいな、と夢見ている。

役所関連のエネルギーコストなどは増加の見込み。昨年と比較して、電力の基本料金は2・7倍、従量料金13%増、1億4千万円が2億円に、1・4倍に跳ね上がる。エネルギーの節約意識の再徹底を指示した。（4/4記）